

日本土壌微生物学会 2008年度 定期総会資料

2008年6月14日(土)13:00～14:00

於 静岡大学 大学会館(静岡市)

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 2007年度会務報告
 - 1) 総務報告
 - 2) 編集・出版報告
 - 3) 会計報告
 - 4) 会計監査報告
 - 5) 評議員会報告
5. 2008年度会務案
 - 1) 行事案
 - 2) 予算案
 - 3) その他
6. 議長解任
7. 閉会の辞

I. 2007年度会務報告

1) 総務報告

(1) 会員状況(2008年6月1日現在) * ()内は昨年5月からの変化

正会員数 518名(-36名)、購読会員 40機関(-6機関)、賛助会員数 24社29口(-2社-3口)

(2) 幹事会

◆2007年度第2回幹事会 日時:2007年12月24日(月)、場所:東京農工大学農学部2号館215号室
(報告)

- ① 会務報告:2007年12月現在の会員状況について報告があった。
- ② 編集委員会報告:「土と微生物」投稿論文の審査状況について報告があった。
- ③ 日本農学賞受賞候補者推薦に関して:生越先生の推薦について候補者推薦委員会の報告があった。
- ④ 学際シンポジウムについて:「テラフォーミングー環境微生物学の挑戦」の開催(案)の説明があった。

(審議事項)

- ① 日本農学賞の発表用ファイルの完成に関して:発表内容の検討について審議し、検討体制を確認した。
- ② 日本農学会の会長・副会長の推薦について:審議の結果、当学会からは推薦しないこととした。
- ③ 新編集委員会の体制に関して:「土と微生物」新編集体制について審議し、(案)どおり了承された。
- ④ 2008年度大会について:大会実行委員長から開催(案)の説明があり、審議の結果了承された。

◆2008年度第1回幹事会 日時:2008年5月17日(土曜日)、場所:東京農工大リエゾンオフィス
(報告)

- ① 会務報告:会員動向、新規学会役員等について報告があった。
- ② 会計報告:2007年度会計報告および会計監査の結果について説明があった。
- ③ 編集委員会報告:「土と微生物」編集状況とM&E編集・出版状況について報告があった。
- ④ 2008年度大会について:実行委員長から、準備状況について報告があった。
- ⑤ 日本農学会報告:日本農学会運営委員会の報告と生越先生の日本農学賞受賞、及び日本農学会80周年誌の編纂状況と記念式典の準備状況について報告があった。
- ⑥ 日本学術会議関連報告: IUMS 国際微生物学会 2011年度大会の準備状況について報告があった。
- ⑦ 大学評価・学位授与機構の専門委員候補者の選考について:選考見送りの連絡があった旨報告があった。

(審議事項)

- ① 2008年度予算案に関して:2008年度予算案が説明され了承された。
- ② 財政の現状と2008年度予算案について:2007年度の財政赤字の状況と、これまで取り組んできた経費削減の取り組みについて報告があり、続いて今後の財政状況改善対策(案)の審議が行われ、審議の結果、会則改定(案)を含め、財政状況改善対策(案)を2008年度評議員会・総会に提案することが了承された。
- ③ ポスター賞選定基準制定について:ポスター賞選定基準(案)の説明があり、一部修正することで了承された。
- ④ ポスター発表と口頭発表の選別方法について:2008年度大会実行委員長から問題提起があり、次期大会に向け検討を進めることとした。
- ⑤ 平成21年度日本農学会シンポジウムテーマの募集について:今回は提案しないこととした。
- ⑥ 評議員会及び総会資料に関して:資料(案)の説明があり、内容を検討し、年度の区切りを会計年度に合わせて変更し、毎年4月1日に新年度を開始することとした。
- ⑦ 次期大会は、土屋副会長を大会実行委員長として九州で開催することを総会に提案することとした。

2) 編集・出版報告

① 会誌発行状況

Vol.61 No.2 2007年10月発行

シンポジウム3編、公開シンポジウム2編、ノート1編、総説1編、書評と提言、一般講演要旨41編、こんなことがいま1編、本会記事

Vol.62 No.1 2008年4月発行

追悼、巻頭言、報文2編、ノート5編、ノート2編、総説1編、実験法2編、こんなことがいま4編

② 投稿状況

1. 受理決定原稿:4報、審査中原稿:2008年5月15日時点でなし

2. 依頼原稿案:2009年4月号掲載予定

(1)ミニ総説特集 土壌微生物研究の最新トピックス2編、(2)解説原稿2編

3) 会計報告

日本土壤微生物学会 2007年度 会計報告

(1) 2007年度収入の部

項目	予算額	決算額	増減(決算-予算)
前年度繰越金	3,831,595	3,831,595	0
正会員費	2,765,000	2,515,000	-250,000
国外会員費	50,000	0	-50,000
購読会員費	252,000	246,000	-6,000
賛助会員費	320,000	259,370	-60,630
M&E誌代金	142,800	154,000	11,200
雑収入	300,000	85,400	-214,600
収入合計	7,661,395	7,091,365	-570,030

(2) 2007年度支出の部

項目	予算額	決算額	増減(決算-予算)
会誌刊行費	2,100,000	2,221,502	121,502
大会運営費	300,000	0	-300,000
日本農学会分担金	80,000	60,000	-20,000
学術シンポ等補助	20,000	140,550	120,550
M&E誌印刷・発送手数料	180,000	339,590	159,590
M&E誌共同編集・出版費	200,000	200,000	0
公開シンポジウム・出前授業経費	20,000	20,000	0
事務費			
事務管理費	350,000	155,254	-194,746
旅費交通費	250,000	88,594	-161,406
会議費	20,000	24,000	4,000
通信郵送料	250,000	122,320	-127,680
文房具費	30,000	22,051	-7,949
諸印刷費	210,000	190,950	-19,050
雑費	150,000	242,690	92,690
小計	4,160,000	3,827,501	-332,499
予備費	3,501,395	3,263,864	-237,531
支出合計	7,661,395	7,091,365	-570,030

(3) 財産目録(2008年 3月31日現在)

項目	金額
現金	108,852
郵便振替口座	1,794,574
郵貯銀行通常貯金	909,400
常陽銀行普通預金	451,038
財産合計	3,263,864

4) 会計監査報告

5) 行事報告

2007年6月7日～8日に日本土壤微生物学会2007年度大会を、千葉県柏市の東葛テクノプラザで開催した(参加者197名)。また、それに伴い2007年6月6日に松戸市立松戸六実第二小学校及び柏市立土小学校で出前授業を行った。また、2008年3月1日には、東京大学弥生講堂で学際シンポジウム「テラフォーミングー環境微生物学の挑戦」を日本微生物生態学会と共催した(参加者66名)。

6) 評議委員会報告

II. 2008年度会務案

1) 行事案

① 財政状況改善対策を講ずる

2008年度実施項目(案)

- 1) 会費滞納正会員の会員資格の停止規定の策定。1年以上滞納で会誌送付停止(会則改定: 下記参照)。
 <現状> 本学会では3年以上滞納で資格喪失。
- 2) 前年度会費滞納購読会員への会誌送付の停止(会則改定: 下記参照)。
- 3) 前年度会費滞納賛助会員への会誌送付の停止(会則改定: 下記参照)。
- 4) CD-ROMの販売促進: 本学会大会、日本土壤肥料学会、日本微生物生態学会等の大会で販売する。
- 5) 広告募集・掲載を扱う業者を通じて、「土と微生物」への広告掲載を募集し掲載料を徴収する。
- 6) 賛助会員の優遇策について
 賛助会員数を増やす手だてとして、下記賛助会員(企業及び団体)優遇策を講ずる。
 ① 賛助会員には、口数に応じて(1口いくらの) 広告掲載料の割引優待をする。

②HPに賛助会員(企業、団体)の一覧を掲載すると共にそれぞれの企業及び団体のHPにリンクをはる。

③大会の際に、賛助会員(企業及び団体)には希望に応じて展示ブースを提供する。

2009年度実施項目(案)

1)M&E誌購読料を5,000円に値上げする。

2)投稿規定を改定する。

印刷代の実費額の改定を行う。

【会則改定(案)】

7)会費

~~国内及び国外~~の正会員は年5,000円、購読会員は年6,000円、賛助会員は年1口10,000円以上を納入する。ただし会長経験者は会費の納入を免除する。会費を1年以上滞納した会員に対しては、会誌の配布と大会及び会誌での発表の権利を停止し、3年以上滞納した会員正会員、購読会員、賛助会員は会員の資格を失う。

【投稿規定改定(案)】

11. …カラーページ1枚につき8万円を要する。

② 2009年度(第55回)大会の実行委員会を立ち上げ、開催の準備を行う。

実行委員長:九州大学 土屋健一先生

③ 学会誌「土と微生物」を発行する。

④ PDF化した「土壌微生物通信」と「土と微生物」Vol.1～Vol.59のCDの販売を促進する。

⑤ 「土と微生物」への投稿を促進する

2) 予算案

日本土壌微生物学会 2008年度 予算案		
(1) 2008年度収入の部		
項目	予算額	備考
前年度繰越金	3,263,864	
正会員費	2,530,000	506名×5,000円
購読会員費	240,000	40件×6,000円
賛助会員費	290,000	24社29口×10,000円
M&E誌代金	142,800	51名1機関×2,800円
雑収入(大会運営費返金等)	300,000	
収入合計	6,766,664	
(2) 2008年度支出の部		
項目	予算額	備考
会誌刊行費	2,100,000	
大会運営費	300,000	
日本農学会分担金	60,000	
学術シンボ等補助	50,000	
M&E誌印刷・発送手数料	250,000	
M&E誌共同編集・出版費	200,000	
公開シンポジウム・出前授業経費	30,000	シンポ講師2名×10,000円 出前授業経費 10,000円
事務費		
事務管理費	200,000	
旅費交通費	200,000	
会議費	30,000	
通信郵送費	170,000	
文房具費	30,000	
諸印刷費	170,000	大会ポスター、チラシ含む
雑費	100,000	
小計(単年度支出分)	3,890,000	
予備費(次年度繰越金)	2,876,664	
支出合計	6,766,664	